2020　年度 授業計画(シラバス)

学　科	看護学科	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	論理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生	学期及び曜時限	前期	教室名	
担当教員	横山　ひとみ	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》
正しい思考過程を経て真の認識に達するために、思考の法則・形式を明らかにする学問である。現代の看護実践には科学的根拠を追及する思考が必要である。論理学を用いて論理的思考ができ、効果的に看護実践に活用する方法を学ぶことをねらいとする。
1. 物事の筋道を理解して順序立てて考えることができる
2. わかりやすく表現できる能力を養う

《成績評価の方法と基準》
小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する

《使用教材(教科書)及び参考図書》
論理の基礎と活用　北樹出版

《授業外における学習方法》
講義で学んだ論理的思考のあり方を普段の生活の中で活用し、論理的思考能力を養うようにする。

《履修に当たっての留意点》
基本的な用語の理解を重ねていけるようにしてください。

回	授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 論理学を学ぶ意義について説明できる。 2. 他者を尊重しつつ、自分の意見を述べることができるためのあり方について述べることができる	教科書 授業資料 演習問題	論理学とはどのようなものか教科書のイントロダクションを読んでおく
		各コマにおける授業予定	ガイダンス、イントロダクション 「主張相互の関係」の講義と演習問題を行う		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.論理的思考における暗黙の前提について説明できる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	「暗黙の前提」の講義と演習問題を行う		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 推論とはどのようなことか説明できる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	「妥当な推論」の講義と演習問題を行う		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 三段論法の思考のあり方について述べることができる。(肯定式、否定式)	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	「論理力トレーニングⅠ」ならば、または、についての講義と演習問題を行う(過言三段論法、肯定式、否定式)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 三段論法の思考のあり方について述べることができる。(両方論法)	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	「論理力トレーニングⅠ」ならば、または、についての講義と演習問題を行う(過言三段論法、両方論法)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 全体と部分について論理的に考える思考法について説明できる	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	「論理力トレーニングⅡ」すべて、ある、についての講義と演習問題を行う		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 集合の関係を踏まえた論理的な思考のあり方について説明できる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	「論理力トレーニングⅡ」定言三段論法とベン図についての講義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 判断と思考をつなぐ推論、推測、演繹、帰納の基本的な用語について説明できる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	推論と推測、演繹と帰納についての講義		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、新しい知識を創造していくための論理的思考のあり方について述べることができる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	知識成長・改善と論理についての講義		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 論述文とはどのようなものか説明できる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	知識成長・改善と論理についての続きを講義 論述文と論理の講義を行う		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 論理的思考を用いて文章を書くことができる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	論述文の要旨を書くトレーニングを行う 論述文（短）を書くトレーニングを行う		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 他者の表現から論理的思考について考え、よいものの根拠について述べることができる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	グループディスカッションを行い、今後に活かせそうな他者の要旨や論述文について、よいものを理由と共に挙げる		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1.論述文を読解し、その内容の要旨を記述できる・	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	論述文の読解、および要旨を書くトレーニングの2回目を行う		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1、問題解決思考の構成について理解し、思考を記述できる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	論述文（長）を書くトレーニングを行う 問題解決と論理についての講義を行う		
第15回		授業を通じての到達目標	1. 他者の表現から論理的思考について考え、よいものの根拠について述べることができる。	教科書 授業資料 演習問題	教科書の該当章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	グループディスカッションを行い、今後に活かせそうな他者のよい点等について議論した		